

まえがき

スピリチュアルな生き方とは？ という探求を始めて20年になります。ある日突然始まった理由なき体の痛みから、私の「意識の変容の旅」が始まりました。

人生の中で誰もが起こる人生の浮き沈みやアクシデント。

でもそれが大いなる宇宙の計画、自分が計画してきた自分の成長のきっかけだとしたらどうでしょう？

それは、ブループリント〈青い地図〉と呼ばれる「自分がこの人生で体験しよう、学ぼうと描いてきた自分の人生」に出会う旅。

人生は旅です。

何をして、誰と出会って、どのように関わって、何を感じて……と、人生という旅を通して自分自身の質を洗練していくのです。

「スピリチュアル」とは、自己の神聖さを生きること。

「霊性」「神聖」ということだと思います。

人間が人生を生きていく中で、さまざまな人と出会い、さまざまなことを経験し、理解し、時には喜びを感じ、時には悲しみを感じ、苦しみを感じ、人は成長していきます。その成長というのは「霊性」の洗練であり成長でもあります。

私は特別に小さいころから、何かが見えるとか、感じるとか、といったタイプではありませんでした。しかし今思えば、直感力は強かったかもしれないし、敏感で繊細だったかもしれませんが、怖がりでしたので、幽霊やオカルト的な話などは興味があっても、近づきたい感じではありませんでした。

そのような私が目に見えないエネルギーを扱う仕事をするようになったのには、周囲の人もびっくりしていました。私自身が一番びっくりしています。

しかし、このスピリチュアルな生き方に導かれると、確信がすぐにやってきて、腹が決まるまでには、そう時間がかかりませんでした。

なぜならクライアントさんを通して、1人ひとりが美しい宝石。もしかしてまだ原石の状態かもしれない。

磨く＝洗練することで人はどんどんその人らしく輝きを放つ、唯一無二のその人ならではの魅力・輝きをセッショョンでしっかりと感じたからです。

そして、それは自分にとつての希望と心からの癒やしを感じ、自分自身の希望にも通じていきました。癒やしを受け入れると人生はどんどん開いていきます。

まさしく「開運」です。

ある日突然、招待されたかのようにやってきたアクシデントが、人生の転機になることもあるのです。この本が、読む方のヒントになれば幸いです。